

環境調査結果のお知らせ

令和7年4月10日9時から野見湾の環境調査を実施しました。

概況

検鏡の結果、魚類に対して有害なプランクトンは確認されませんでした。麻痺性貝毒の原因種であるアレキサンドリウム属が最高で4 cells/mL確認されました。

海や養殖魚、貝類の状態に不安や変化を感じた時は、良く洗ったペットボトルに海水を汲むなどして、水産

調査点 (透明度) 【調査時刻】	海洋環境				プランクトン		
	深度	水温	塩分	溶存酸素	アカシオ・ サングイネア	珪藻	アレキサンドリウム 属
	(m)	(℃)		(mg/L)			
1 防波堤内側 (6.9m) 【10:19】	0	17.5	32.6	8.9	0	-	0
	2	17.2	34.1	9.2	0	-	0
	5	17.2	34.3	9.2	0	-	0
	10	16.9	34.4	9.2	0	-	0
	底層 14.5	16.6	34.4	8.5	-	-	-
A ガラク (10m) 【10:10】	0	17.4	34.4	9.0	0	-	0
	2	17.3	34.4	8.9	0	-	0
	5	17.2	34.4	8.7	0	-	0
	10	17.1	34.4	8.4	0	-	0
	底層 14.5	16.9	34.4	8.5	-	-	-
2 須崎木材工業団地前 (3.8m) 【10:28】	0	18.1	33.5	9.4	0	-	0
	2	17.5	34.0	9.3	-	-	-
	5	16.9	34.3	9.1	0	-	0
	底層 10	16.6	34.3	8.7	-	-	-
B 勢井 (6m) 【10:42】	0	17.7	34.4	9.1	0	120	0
	2	17.3	34.4	8.7	0	50	0
	5	17.0	34.4	8.7	0	140	0
	10	16.9	34.4	9.1	1	140	4
	底層 17	16.6	34.4	8.8	-	-	-
C 馬の背 (9m) 【10:50】	0	17.4	34.5	8.9	0	140	0
	2	17.3	34.4	9.0	0	-	0
	5	17.1	34.4	9.1	0	-	0
	10	17.0	34.4	9.0	0	-	0
	底層 21	16.5	34.4	8.9	-	-	-
D 大室戸 (9.5m) 【10:01】	0	17.5	34.5	8.9	0	-	0
	2	17.3	34.4	9.0	0	-	0
	5	17.2	34.4	8.9	0	-	0
	10	17.0	34.4	8.5	0	-	0
	底層 19	16.5	34.4	7.7	-	-	-
E 湾奥ブイ (6.8m) 【09:40】	0	17.3	34.4	9.4	0	140	0
	2	17.2	34.4	9.4	0	140	0
	5	17.3	34.4	9.2	0	140	0
	10	16.8	34.3	9.3	0	100	0
	底層 16	16.5	34.4	8.6	-	-	-

調査点 (透明度) 【調査時刻】	海洋環境				プランクトン		
	深度	水温	塩分	溶存酸素	アカシオ・ サンゲイネア	珪藻	アレキサンドリウム 属
	(m)	(°C)		(mg/L)			
F 大谷漁港内 (5.3m) 【11:01】	0	17.5	34.2	8.8	0	-	0
	2	17.1	34.3	9.2	0	-	0
	5	16.9	34.3	9.1	0	-	0
	底層 6	16.9	34.3	9.0	-	-	-
3 タンボ (7m) 【09:52】	0	17.4	34.4	9.2	0	-	0
	2	17.3	34.3	9.2	0	-	0
	5	17.1	34.3	8.9	0	-	0
	10	16.8	34.3	8.8	0	-	0
	底層 12.5	16.8	34.3	8.5	-	-	-

参考：有害プランクトンの種類と注意及び警戒基準

有害プランクトン	被害	注意基準（※1）	警戒基準（※2）	主な赤潮発生時期 ※3		
				浦ノ内湾	野見湾	宿毛湾
<i>Karenia mikimotoi</i> (カレニア・ミキモトイ)	魚類等のへい死	100 cells/mL	1,000 cells/mL	5～8月	6～8月	—
<i>Chattonella</i> spp. (シャットネラ属)	魚類等のへい死	10 cells/mL	100 cells/mL	6～8月	—	—
<i>Cochlodinium polykrikoides</i> (コクロディニウム・ポリクリコイデス)	魚類等のへい死	10 cells/mL	100 cells/mL	—	2～4月	5～6月
<i>Heterosigma akashiwo</i> (ヘテロシグマ・アカシオ)	魚類等のへい死	5,000 cells/mL	50,000 cells/mL	3～12月	4～8月	4～11月
<i>Dictyocha</i> spp. (ディクチオカ属)	魚類等のへい死	—	5,000 cells/mL	6～7月	4月	—
<i>Takayama</i> spp. (タカヤマ属)	魚類等のへい死	—	10,000 cells/mL	8～9月	—	—
<i>Heterocapsa circularisquama</i> (ヘテロカプサ・サーキュラリスカーマ)	二枚貝のへい死	—	500 cells/mL	8～11月	—	—
<i>Alexandrium</i> spp. (アレキサンドリウム属)	二枚貝の毒化	10 cells/mL	100 cells/mL	—	1～4月	3～5月
<i>Gymnodinium catenatum</i> (ギムノディニウム・カテナータム)	二枚貝の毒化	—	1 cell/mL	—	—	2～7月

※1 注意基準：餌食いの悪化、警戒基準に達する恐れのある密度

※2 警戒基準：魚類及び二枚貝のへい死 並びに 二枚貝の毒化が想定される密度

※3 あくまで目安なので、水産試験場・漁業指導所の広報や養殖魚の状態に応じて、慎重な養殖管理をお願いします。



1: 防波堤内側

A: ガラク

2: 須崎木材工業団地前

B: 勢井

C: 馬の背

D: 大室戸

E: 湾奥ブイ

F: 大谷漁港内

3: タンボ